

政策名	5安全な港		責任者	総務部 危機管理室担当課長	連携担当課 (港営部)海務課、港湾管理 事務所、関連事業担当
基本施策名	07危機管理機能の強化				
個別施策名	22保安対策を強化する		連絡先	052-654-7813	
事務事業名	01港湾施設における保安対策の推進				

1 PLAN(目的・概要)

目的	国際港湾施設管理者(国際埠頭施設管理者及び国際水域施設管理者)及び、保安業務担当者が保安事業に対して、迅速なる保安措置における対応、また、関係機関(部署)との緊密な連携を確保します。	事業期間	平成16年度～継続
概要	平成16年7月から施行された改正SOLAS条約に基づき、国内法化した「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」に基づき、港湾保安対策における事業を想定し、保安訓練等を実施します。	根拠法令・要綱等	改正SOLAS条約、国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	平成21年度は、監視機器移設・情報連絡訓練(基本1回)、緊急時対応措置訓練(基本2回)、保安講習(基本3回)、情報疎通訓練(総合1回)の計4回の訓練を実施しました。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
保安訓練の開催	単位	目標	5	5	5	5	5	SOLAS基本訓練(4回)及びSOLAS総合訓練(1回)を行います。 総合訓練は、保安規程上、基本訓練を兼ねることができます。
	回	実績	5	6	4			
事業費	単位	目標						訓練計画、想定及び評価等、訓練1回につき3日程度必要
		実績						
人員 正規職員	単位	千円	0	0	0	0		
		人	0.50	0.50	0.50	0.50		
嘱託職員	単位	千円	4,343	4,385	4,291	4,389		
		人						
事業費・人件費の合計		千円	4,343	4,385	4,291	4,389		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
保安訓練評価の問題点	単位	目標	0	0	0	0	0	保安訓練の評価及び問題点の洗出しを行います。
	件	実績	4	3	1			
	達成率(%)							
観点	単位	目標						現状の「見える化」
		実績						
	達成率(%)							
必要性	組合関与の必要性	有・無	有・無					その他特記事項
	目的・水準の妥当性	有・無	この事業における訓練については、国内法「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」に基づき、実施しています。					
	利用者などの対象者ニーズ	有・無	有・無					
有効性	成果の達成度	有・無	平成21年度の問題点は1件だった。これは訓練の積み重ねによるものと判断します。					
	内容の妥当性	有・無	有・無					
効率性	実施主体の妥当性	有・無	有・無					
	受益者負担の適正性	有・無	訓練計画の段階から、職員の対応は必要となるが、事業費等のかからない事業です。					
	経済性	有・無	有・無					

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大		○	保安訓練に加え、保安規定の見直しを適宜行い、国際的に遜色のないセキュリティレベルを確保する必要があるため。
		維持			
		縮小			
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		保安対策業務に携わる職員及び保安警備員に対する訓練並びに講習を行うと共に、保安対策の強化に向けた保安規定の見直しを進めます。			